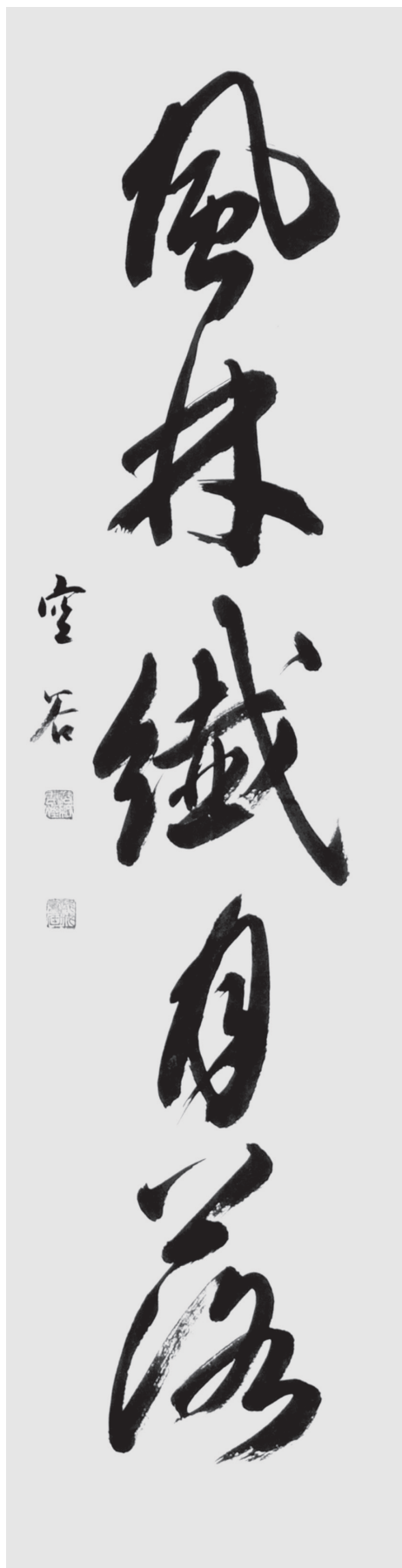


半切四分の一に書くⅡ（6）

締切り 六月二十四日（必着）



神谷 葵水 先生 書

◎本誌に条幅（半切）の課題が正式に設置されたのは、平成十一年七月のことです。その前の約八年間は、半切への足がかりとして半切四分の一のサイズ（約六八cm×十七、五cm）で条幅の基礎を学んでまいりました。

◎このコーナーでは、元愛知教育大学名誉教授・神谷葵水先生の当時のお手本をもとに、改めて条幅の基礎を学びます。平成二十六年にも一年間学びましたので、今回はパートⅡになります。

◎条幅は苦手という方、大きい作品に気後れしている方は、この機会にぜひ、条幅の草稿作りのつもりで気軽に取り組んでみましょう。

〔読み〕 風林織月落（杜甫の詩句）
ふうりんせんげつおつ

〔大意〕 風に揺れる林に細い月がさしこむ。

〔解説〕

・用紙に五文字をバランスよく収めることが大切です。行の中心、字間、天地のあき等に注意しましょう。紙を折る、下敷の罫を利用する等の方法もあります。

・お手本をよくみると、各字に大小の違いがあることがわかります。潤滑も考えてみましょう。その方が動きやリズムが出て表現が豊かになります。

・できる方は、書体や崩し方を変換してオリジナルな作品に挑戦して下さい。その際、字典でしっかり調べるのが肝要です。

・落款（署名・印）も作品の一部です。丁寧に収めましょう。印のない方は□を赤ペン又は朱墨で書いて下さい。

〔作品の出し方〕

▼毛筆部Ⅱ条幅半切四分の一（約六八cm×十七、五cm）に書いて下さい。

▼硬筆部ⅡB5版（二五七mm×一八二mm）以下の紙に課題手本のような枠線を引いて下さい。用具は自由ですが、細い線は相応しくありません。（フエルトペン・筆ペン可）

▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・毛筆漢字の成績（硬筆の場合は硬筆規定の成績）を、作品余白にお書き下さい。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

一般部規定課題

締切り 6月24日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕

〔解説〕

生 仰平俯
楷書でも気脈大切
長短どちらも可
組み合わせどちらも可

▶教範・書範は右課題を「行草または草書」で、師範は「行書」で出書して下さい。

生きる上で大事な
ことを子供は
大人を見て覚える

おくむら のぶ ゆき 書
奥村暢之

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

誘 惑 逃 道 屈 服
10 12
1 2 11
10 12
1 2 11

そ	唯	誘
れ	一	惑
に	の	か
屈	道	ら
服	は	逃
す		れ
る		る
事		

おお たに せい じょう 書
大谷清城

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

★誘惑から：(書体Ⅱ行書)

オスカー・ワイルド(一八五九～一九〇〇)
イギリスの作家

誘惑から逃れようとすればするほど
誘惑に心がひかれます。

思い切って誘惑に負けてしまえば、
もう心が煩わ(わづ)されることはない、とい

う訳で、何かに集中したい時などは、
誘惑に屈服することも早道であり、逆

説的に一理あると考えられます。

◆7月課題予告(楷書)

決定を焦らない

一晚眠れば

良い知恵が出る

★生きる：(書体Ⅱ楷書)

鷺田清一(一九四九～)

哲学者

「おとなの背中」という短いエッセーの中の味わい深い言葉です。

子供は大人のその姿・その佇まいを
後ろから、しかと見ており、子供は大

人が思う以上に鋭敏であります。

見られるに値する佇まいをどうした
ら獲得できるか考えてみたいものです。

◆7月課題予告(行書)

名誉心や良心は

権力を持った人間

にだけ必要なもの

▼教範・書範Ⅱ楷書

▼師範Ⅱ行草または草書

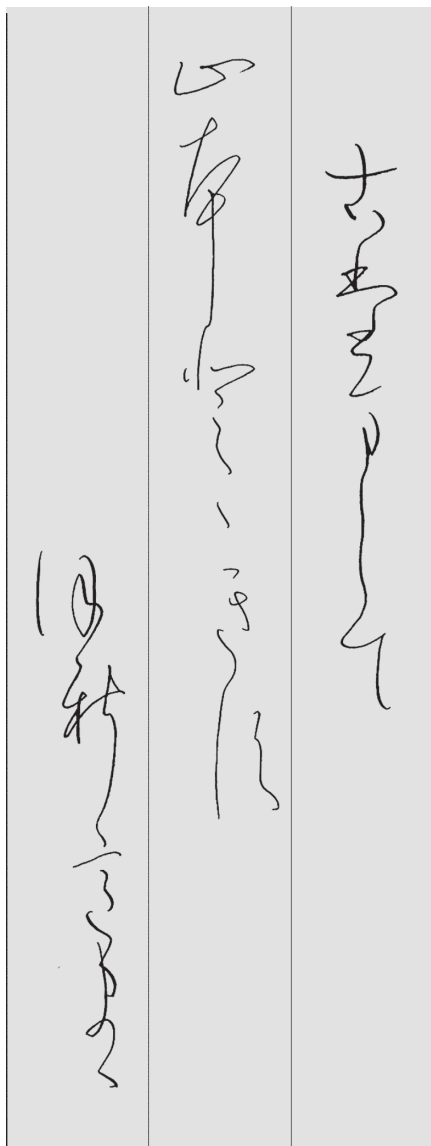
一般部かな課題

締切り 6月24日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

古堂万
衍して山ほととぎすほしいまま、
本登、須保新意



た 中 き こう 書
田 中 貴 光 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

多
衍して山ほととぎすほしいまま、
やま保、寸本志以万、



た 中 き こう 書
田 中 貴 光 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

◆7月課題予告

空をはさむ蟹死にをるや雲の峰
(河東碧梧桐)

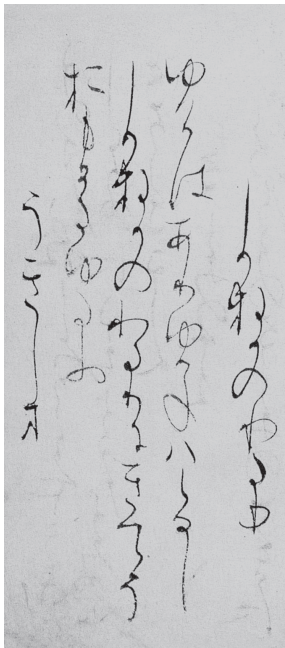
意 以 登 本 堂
意 以 登 本 堂
意 以 登 本 堂
意 以 登 本 堂
意 以 登 本 堂

【古筆参考】

衍して山ほととぎすほしいまま
〔句解〕四辺の山に鋭くこだまを反響させて、山ほととぎすが、思う存分に鳴きしきっている。
〔鑑賞〕作者は、ほととぎすの声の印象を(絶頂近く杉の木立をたどる時、突然に何ともいえぬ美しい響きをもった大きな声が木立の向こうの谷間から聞こえてきました。それは単なる声というよりも、英彦山そのものの山の精の声でした。)と伝えている。
(杉田久女)

〔古筆参考〕

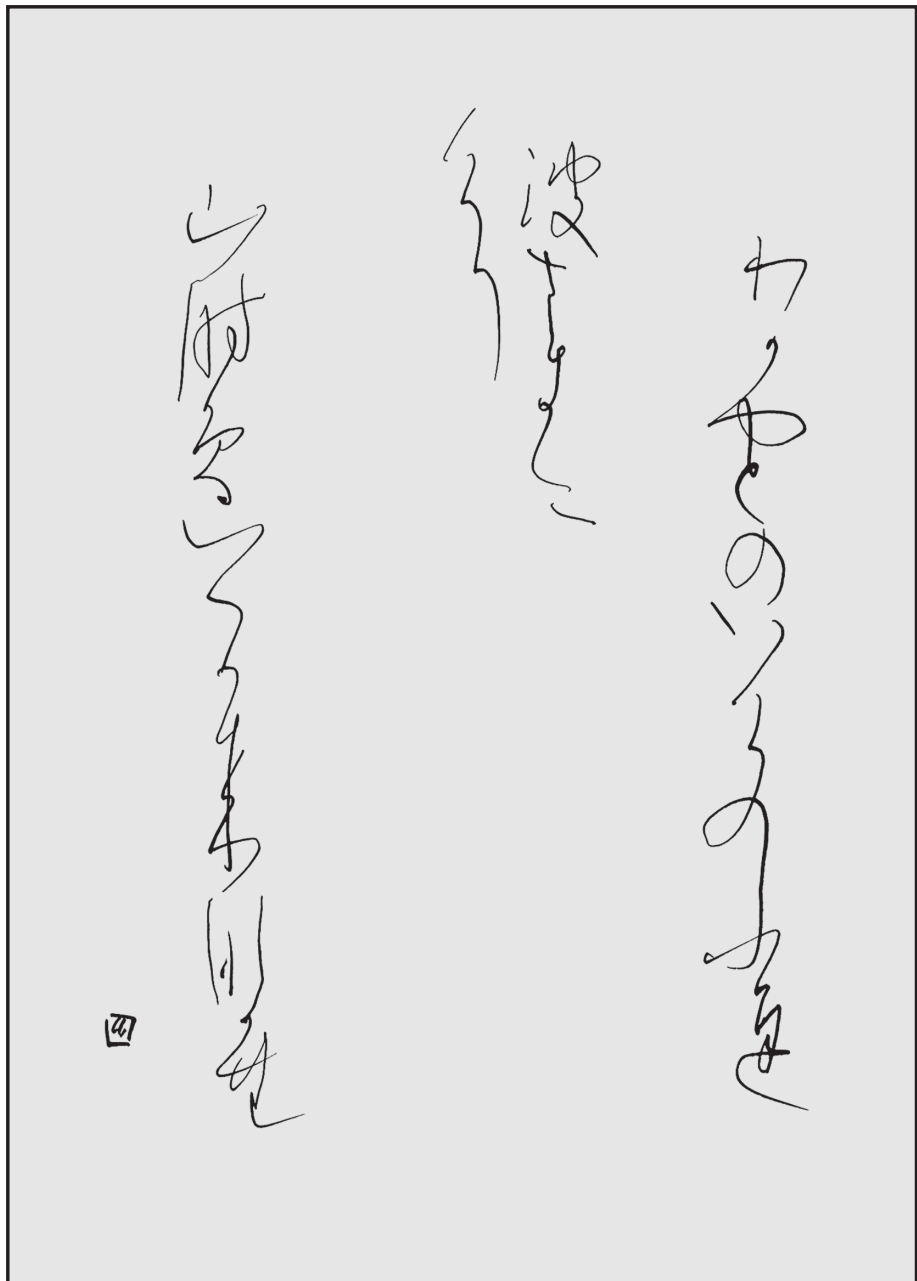
なかつかさしゅう
中務集



しかすかのわたり
ゆけばありゆかねばくるし
しかすがのわたりにきてぞ
おもひたゆたふ
うきしま

締切り 六月二十四日（必着）

築瀬舟香書



わがやどの池の藤波咲きにけり
山時鳥いつか来鳴かむ

〔歌意〕わが宿の池のほとりの、藤の花が咲いた。山から時鳥が来て鳴いてくれるのは、いったいいつのことか、待ち遠しい。

〔出典〕古今和歌集

（新潮日本古典集成）

〔解説〕



・①と②、①と③、①と④、②と③、②と④、③と④、それぞれ呼応。

・○余白大切。

・行のふくらみ、ゆれ大切。

・●粗密の動き大切。

・↙の方向大切。

◆7月課題予告

月みれば千々にものこそかなしけれ
我が身ひとつの秋にはあらねど

締切り 6 月 24 日(必着)

庭の紫陽花が綺麗に咲いています。
孫の香代子が絵画教室に通わせて
いただき始めて早一年です。優しく
教えて下さる先生が大好きな様で
週一回のおけいこを楽しみにして
家でも毎日何かを描いています。

庭の紫陽花が綺麗に咲いています。
孫の香代子が絵画教室に通わせて
いただき始めて早一年です。優しく
教えて下さる先生が大好きな様で
週一回のおけいこを楽しみにして
家でも毎日何かを描いています。

※手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

お 郷 すい こう
尾 郷 翠 光 書

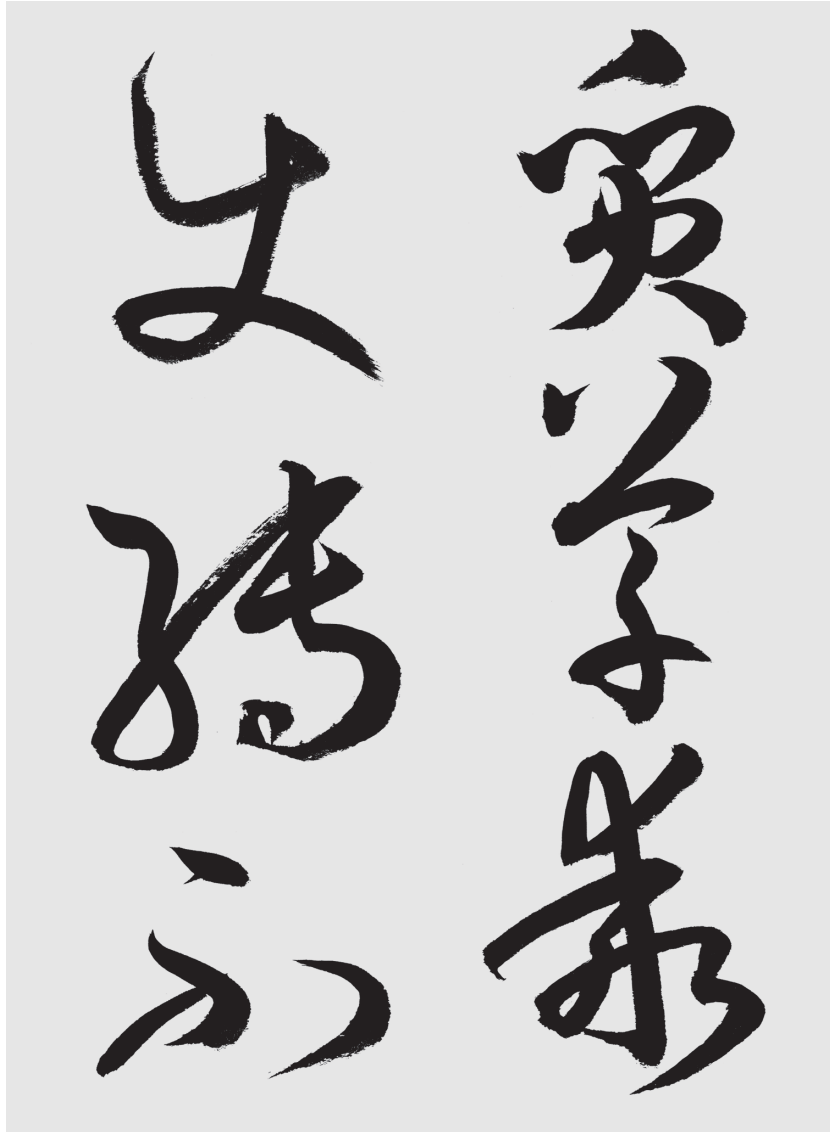
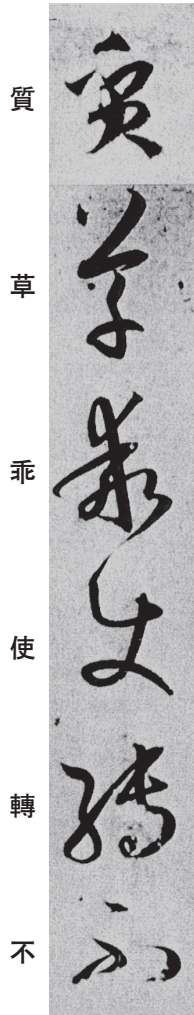
更衣は、古く宮廷で行われており
江戸時代から民衆に広まった。

北海道網走市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 6月24日(必着)

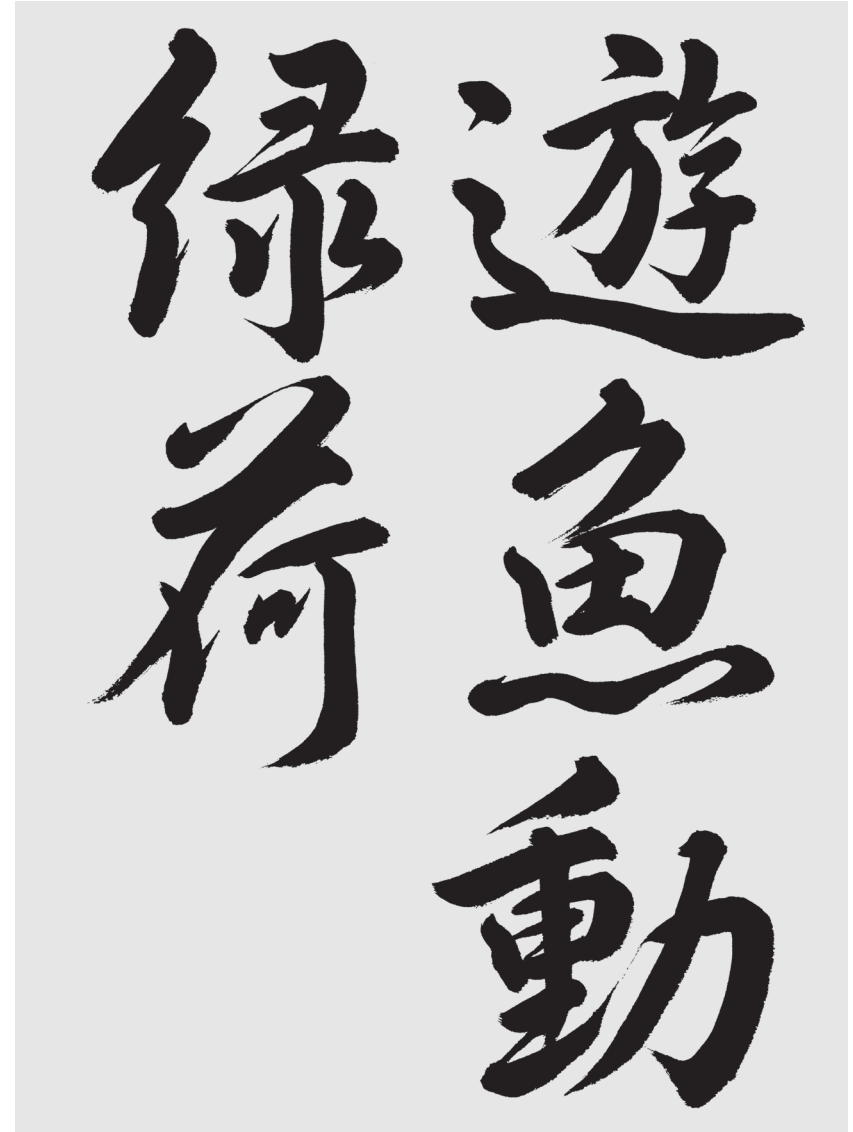


準初段から師範まで

奥村暢之臨

〔出典〕書譜（687）〔筆者〕孫過庭（648?～703?）

〔読み〕質と（為す。）草使転に乖けば、（字を成す能）わず、



新入から1級まで（行書）

須田一葉書

〔読み〕遊魚緑荷を動かす

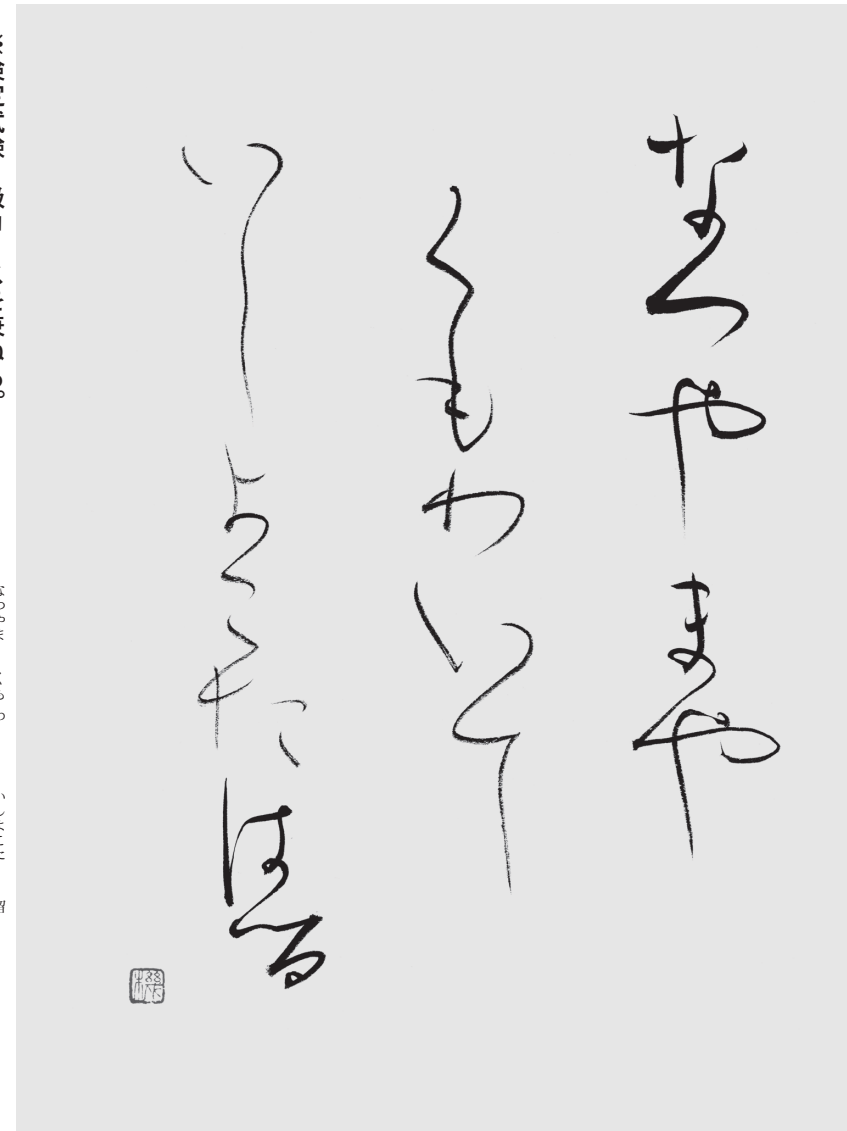
〔大意〕池の中で戯れる魚が緑の蓮の葉を動かしている。

一般部毛筆かな課題

締切り 6月24日(必着)

新入から1級まで

浅井機山先生書



〔出典〕 正岡子規

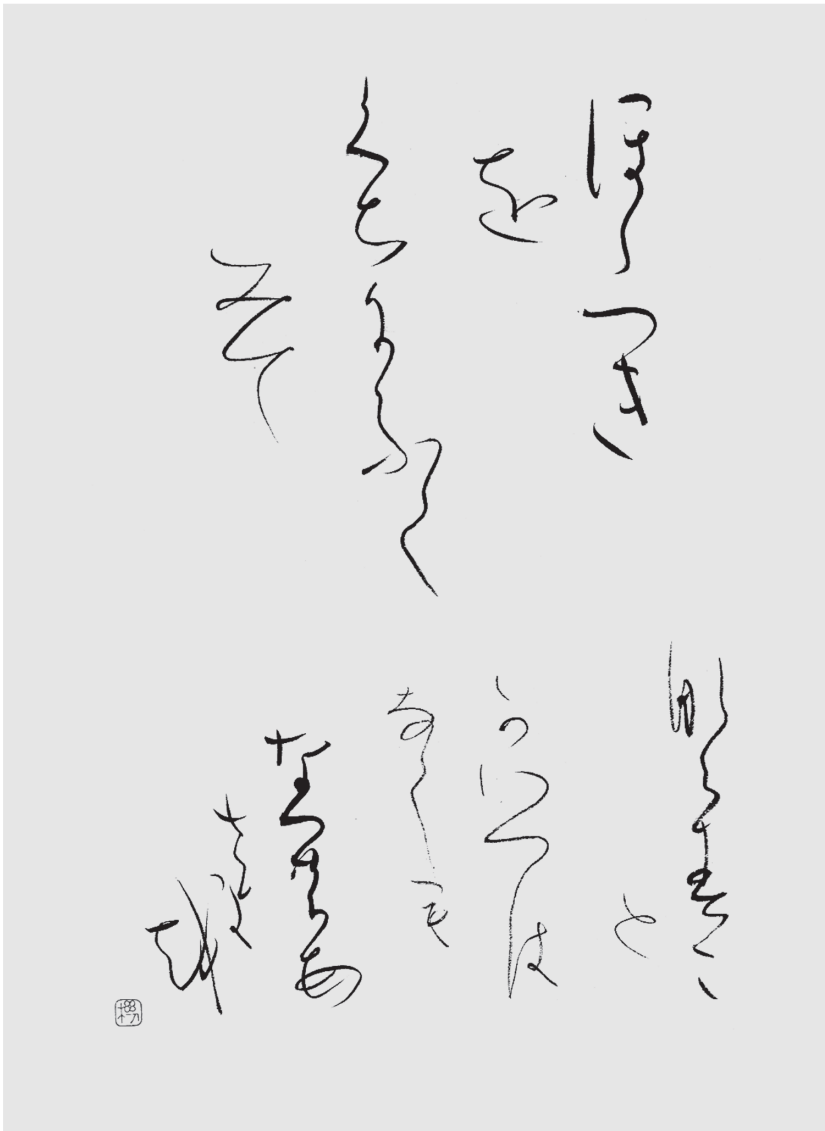
〔句意〕 雄大な夏山の全景を、白い入道雲を背景とし、夏草の緑に横たわる岩石を対照的に描き出している。雄大で強烈な夏山の印象が表わされている句。

※検定試験1級コースを兼ねる。

準初段から師範まで

■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。

夏山や雲湧いて石横はる



〔出典〕 長塚 節

〔歌意〕 鬼灯を口に含んで鳴らすように、蛙が鳴いているよ、夏の浅い宵を。

※検定試験三段コース以上を兼ねる。

鬼灯を口に

ふくみて鳴らすごとく
蛙はなくも夏の浅夜を

一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題

締切り 六月二十四日（必着） 半切（一二六cm×三五cm）



荻田蒼仙書

山中自可全高節
天下難居是盛名

〔大意〕俗事を離れた
山中にあっては気持ち
は高潔でありえるが、
一般世間では諸事煩わ
しく住みにくい。

初出品の方へ

支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

昨年の研修旅行の際にはたいへん

お世話になり有難うございました

琵琶湖の眺めに心身ともに癒され

あつという間の二日間でした

酒井未央

書 香 梅 藤 伊

半紙（334mm×240mm）

※検定試験三段コースを兼ねる。

〔条幅解説〕起筆の瞬間……穂先の僅かなねじれの

加減で多様な線が表れます。但し目下未だ結果が

見い出せなくて模索中です。

昨年の研修旅行の際にはたいへん

お世話になり有難うございました

琵琶湖の眺めに心身ともに癒され

あつという間の二日間でした

（ご自分の氏名）

・印で墨つぎしました。

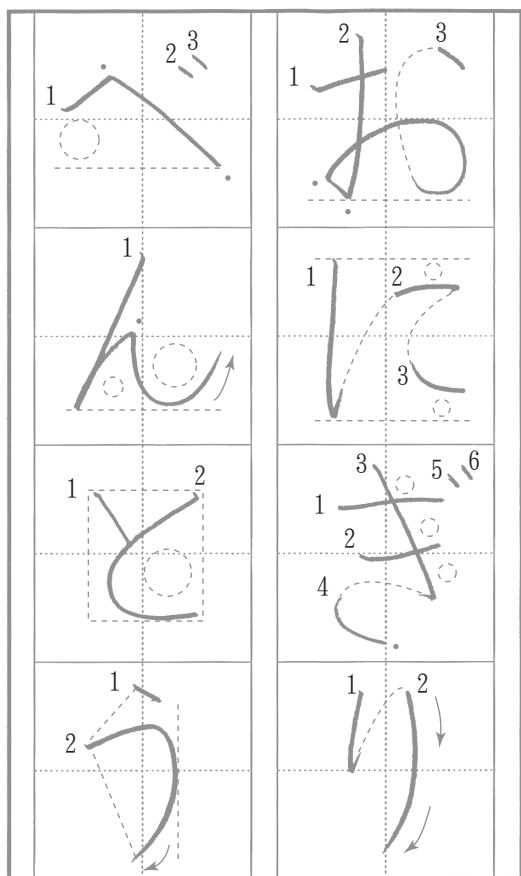
〔条幅・細字作品の出し方〕

■ 新人から師範まで、どなたでも出書できます。

■ 成績（天位～5等）は、評価により毎月かわり
ます。

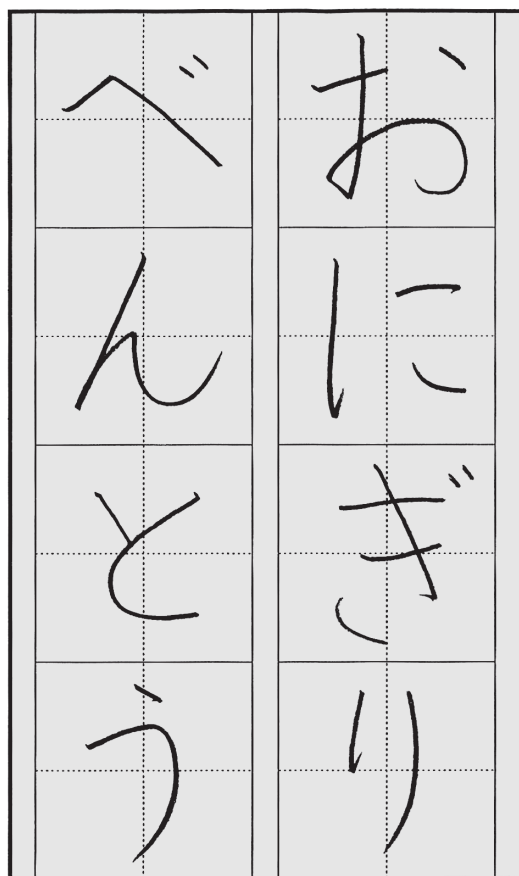
■ 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)



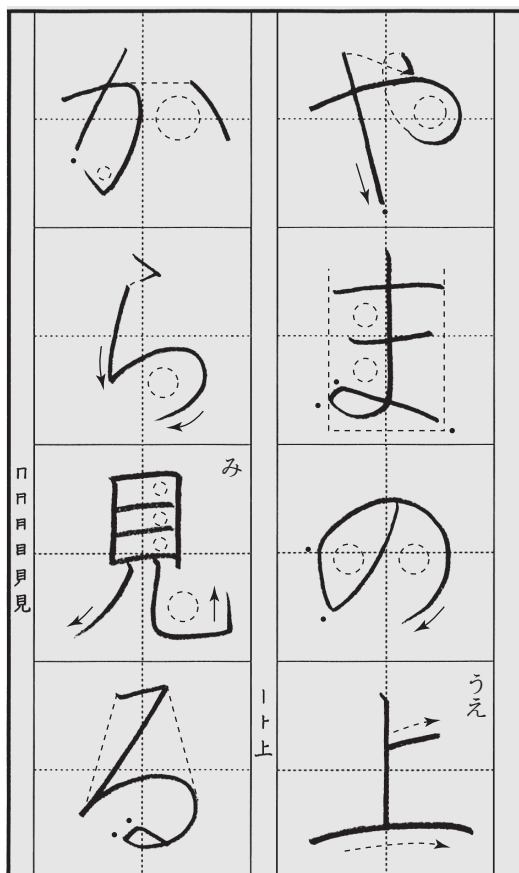
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



よ
う
年

幼年～小三年まで
三宅容玉書



新入～1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

え	十	ジッ
ん	本	ボン
び	の	
つ	色	いろ

一十
一十オ木本
ノハム名色色

新入1級

で	色	十
絵	え	本
を	ん	入
か	び	り
く	つ	の

準初段以上

小二年

準初段以上

の	雨	あめ
新	が	
緑	里	さと
に	山	やま

一雨雨雨雨
一山山山山
一山山山山

新入1級

し	山	雨
ず	の	あ
く	新	が
光	緑	り
る	に	里

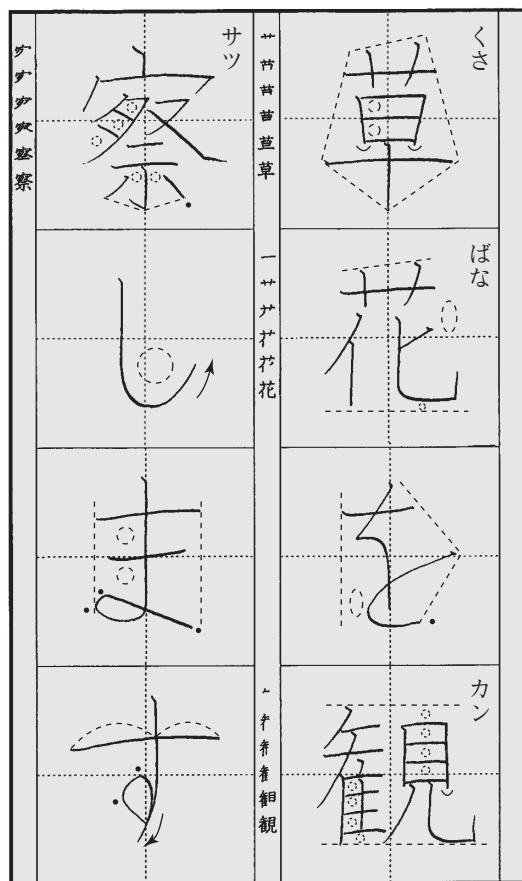
準初段以上

小三年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

小四年



(全員)

新四年生は、左記により、全員この手本どおり8マス用紙で出書してください。

記

- *用具は自由ですがデスクペン、つけペンで書く人は、硬くならず、のびやかに書く習慣をつけることが第一目的です。
- *六月締切り分までは、この方法が続けます。
- *ペン書きの人は早く慣れるよう、たくさん練習しましょう。
- *七月締切り分からは、準初段以上は従来どおり15マス用紙を使用してください。

〈用具〉自由(黒色に限る)

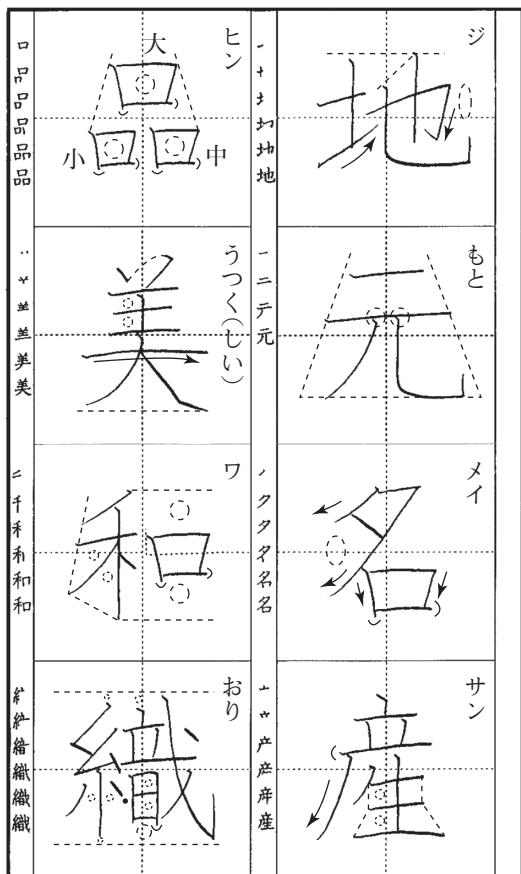
小五年



(全員)

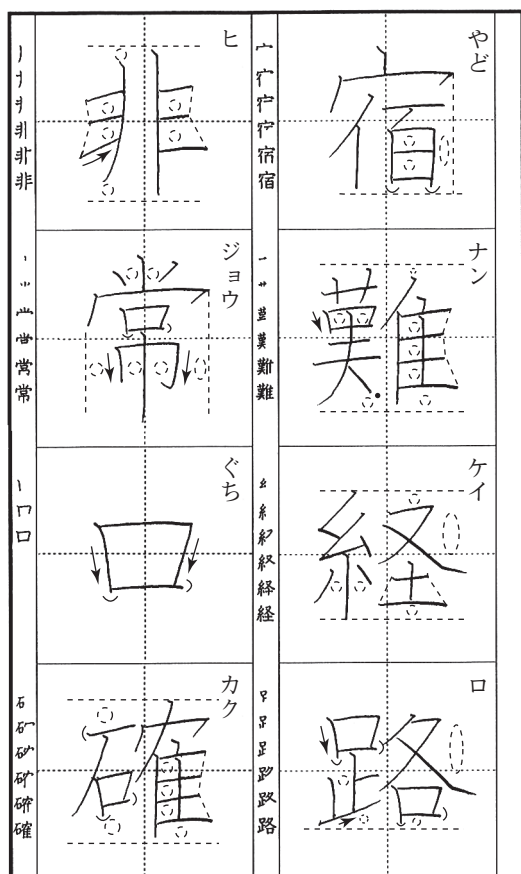
小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

解説(よく見て習いましょう)



小四年以上 岡嶋桂川書

〈用具〉自由(黒色に限る)



解説(よく見て習いましょう)



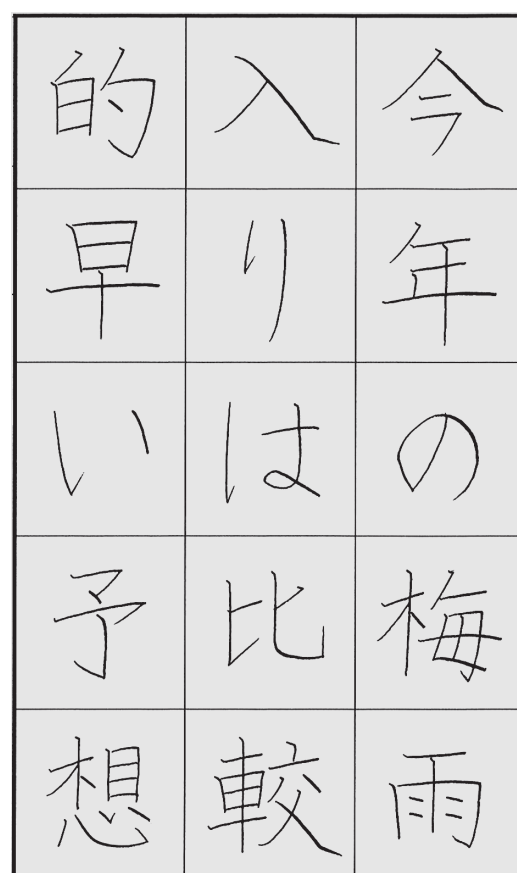
小六年

(全員)



中二・三年

(楷書)



中一年

(楷書)

▼小三年以下の課題 田 代 華 光 書

※明日^{あす}＝単語としてこのように読みます。

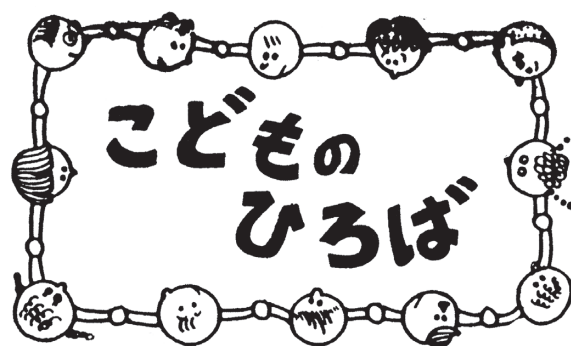
◎お手本はえんぴつ使用

公 ^{こう}	川 ^{かわ}	美 ^{うつく}	緑 ^{みどり}	明 ^あ
園 ^{えん}	向 ^む	し	の	日 ^す
へ	こ	い	草 ^{くさ}	の
行 ^い	う	花 ^{はな}	木 ^き	遠 ^{えん}
き	の	さ	と	足 ^{そく}
ま		く		は
す				



- ◇作品の出し方
- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
 - 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
 - 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
 - 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
 - 一、成績は評価により毎月変わります。
 - 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。

◎お手本はつけペン使用



しめきり 6月24日（必着）

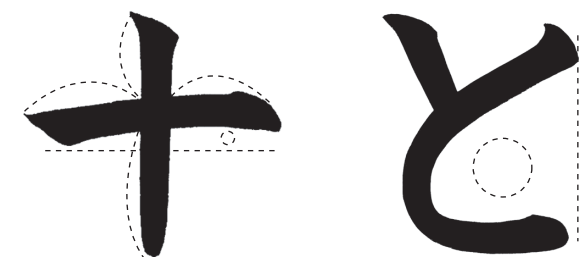
習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 し 清 水 希 光 書

定 ^{さだ}	太 ^{たい}	一	時 ^{とき}	六 ^{ろく}
め	陽 ^{よう}	九	の	月 ^{がつ}
ら	暦 ^{れき}	二	記 ^き	十 ^{とお}
れ	に	十	念 ^{ねん}	日 ^か
た	基 ^{もと}	年 ^{ねん}	日 ^び	は
	づ	に	で	
	き			




幼年／小二年
水野碧友書





小三・小五年

玉樹小華書
たまきしょうか

中二三
大球
会技

口非
常

小六
中二・三年
水野の香竹書

雨 非
球 常
技 梅

中一
入梅
り雨

第76回 毛筆検定試験受験要項

6月24日締切り

■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、六月のすべての毛筆月例競書をお休み下さい。（短期特別課題は出品可）

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。

ただし教範コースは、上から、①漢字②かな③細字④教育部手本課題⑤条幅⑥書歴（初回のみ。詳細は本部へ問合せ）の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようにお願いします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を七月号配本時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。（振替、その他は不可）

●締切り 令和元年六月二十四日（本部必着）

●送り先 大書、心会検定試験係

●発表 令和元年九月号

▼肉筆手本希望者は、毎月裏表紙掲載の先生へ、現金書留（返信用封筒同封）でお申込み下さい。

（左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は半額といたします）

※条幅の原寸大のコピー手本はありません。

・一般部1級・三段コース

・活字課題

五段コース以上
会友コース以上

	漢字半紙	細字・かな	漢字半紙	細字	条幅	細字	教育部
一、〇〇〇円	一、〇〇〇円	一、〇〇〇円	一、〇〇〇円	一、〇〇〇円	一、〇〇〇円	一、〇〇〇円	一、〇〇〇円
一、五〇〇円	一、五〇〇円	一、五〇〇円	一、五〇〇円	一、五〇〇円	一、五〇〇円	一、五〇〇円	一、五〇〇円
二、〇〇〇円	二、〇〇〇円	二、〇〇〇円	二、〇〇〇円	二、〇〇〇円	二、〇〇〇円	二、〇〇〇円	二、〇〇〇円
三、五〇〇円	三、五〇〇円	三、五〇〇円	三、五〇〇円	三、五〇〇円	三、五〇〇円	三、五〇〇円	三、五〇〇円
一、七〇〇円	一、七〇〇円	一、七〇〇円	一、七〇〇円	一、七〇〇円	一、七〇〇円	一、七〇〇円	一、七〇〇円
八〇〇円	八〇〇円	八〇〇円	八〇〇円	八〇〇円	八〇〇円	八〇〇円	八〇〇円

◆一般部1級・三段コース

コース	課題	最高昇位	課題	漢字		かな	細字	計	受験料
				楷書	行書				
一般部	1級コース	1級まで	漢字は下掲課題 かなは月例級位課題	1	1	1	—	3	1,500
	三段コース	三段まで	漢字は下掲、かな・ 細字は月例段位課題	1	1	1	1	4	2,000

〔三段コース漢字課題〕

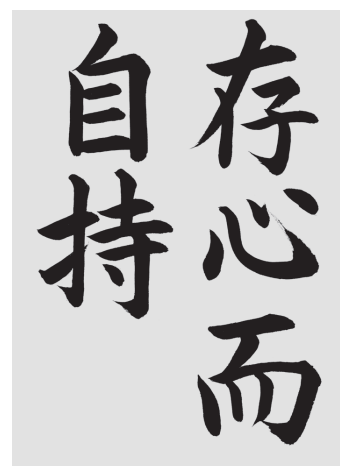
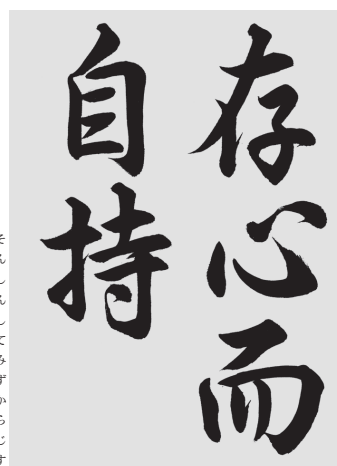
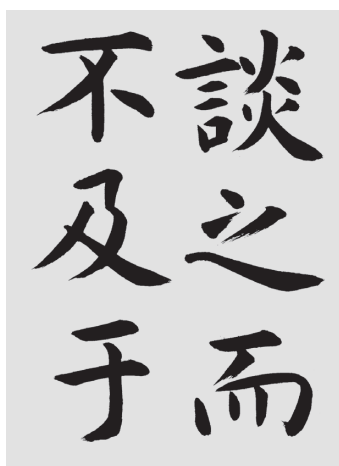
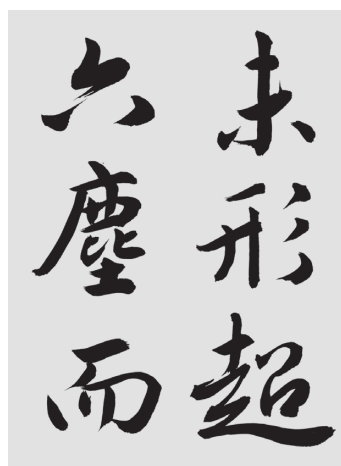
〔1級コース漢字課題〕

《集字聖教序》

《孔子廟堂碑》

《行書》

《楷書》



神谷葵水先生書

須田一葉書

◆一般部五段・書範・教範コース

◆教育部普通・会友コース

コース	課 題	受 験 資 格	最 高 昇 位	課 題	漢 字			かな	細 字	条 幅	教 育 手 本	計	受 験 料
					楷書	行書	草書						
一 般 部	五 段	有 段 者	五段まで	下記（活字）	1	1	1	1	1	—	—	5	2,500
	書 範	有 段 者	書範まで	下記（活字）	1	1	1	1	1	1	—	6	3,000
	教 範	書 範	教 範	下記（活字）	1	1	1	1	1	1	2	8	4,000
教 育 部	普 通	—	6月しめきりの月例競書課題									1	400
	会 友	四段以上の中学生 準会友の小学生	6月しめきりの月例競書課題と下記活字課題（行書）									2	700

◎師範試験は、毎年2月に単独で実施しています。

■五段・書範・教範コース受験のきまり

- 一、五段・書範・教範コース受験は、上掲一覧表のと
おりの受験有資格者に限ります。
- 一、教範コースは単位合格が認められますが、単位を取
得されていても、受験の際は改めて全科目を提出し
て下さい。ただし、合格科目については、審査の対
象から除きます。
- 一、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと無効
になります。

「五段・書範・教範コース課題」

漢 字

五段コース以上共通（半紙）

図版で示した三つの法帖の各六文字を、それぞれ半紙に
臨書して下さい。

▼孔子廟堂碑

亡 吳 霸 越 之 弁

▼集字聖教序

方 其 朗 潤 故 以

▼書 譜

謝 安 素 善 尺 牘

■かな 三段コース以上共通（半紙）

次の和歌を、かな半紙にちらし書きにして下さい。
◎鬼灯を口にふくみて鳴らすこと
蛙はなくも夏の浅夜を（長塚節）

※6頁参照

■条 幅 書範・教範コース共通（画仙紙半切）

次の語句を、画仙紙半切に体裁よく書いて下さい。

月 来 池 上 花 光 淨
雨 過 園 林 竹 露 濃

■細 字 五段コース以上共通（半紙）

次の語句を、行書または行草体で体裁よく書いてく
ださい。

毎朝夫婦で新鮮野菜作りに励んで
います 畑までは車で五分ですが
水やら肥料等の積み降ろしで体が
鍛えられますし気分も爽快です

■教育部手本課題 教範コースのみ（半紙）

小 1 む れ
小 6 校 内
放 送

※氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。
（小1年はひらがなで書くなど）

■会友コース課題

祝 電

（行 書）

▼六月締切りの自分の学年
の月例課題一枚
▼上の語句の行書一枚
計二枚を一組とし、右肩
をとじて出品のこと。